

第1学年 生活科学学習指導案

平成28年2月4日（木）第5校時

1 単元名 「もうすぐ2年生」

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、入学以来、主に生活科の学習を通して、校内の「ひと・もの・こと」に、自ら進んでかかわろうとする姿が多く見られた。特に、3学期に入ってからは、2年生への進級も意識し、生活科の学習をはじめ学校生活全般に意欲的に取り組んでいる。

本校の児童は、毎年、約30の幼稚園や保育所から入学してくる。その中の近隣の大袋幼稚園と交流会を続けている。本学級の15名が大袋幼稚園の出身者であり、昨年度の交流会を経験している。全児童に入学前の思いを尋ねると、楽しみも大きかったが、心配や不安や気持ちも多少あったと語る児童もいた。

(2) 教材観

本単元は、上記の児童の実態と学習指導要領の内容(9)の

自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

と、学習指導要領の内容(8)の

自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。

に基づいて設定したものである。

本単元では、幼稚園児との交流を通して、児童自身が自分の成長を実感したり、優しい気持ちや他者への思いやり、我慢する心など、自分の内面的な成長に気付くきっかけをもったりすることをねらいとする。

単元や学習活動を構成するにあたっては、幼稚園児と言葉を中心に様々な方法によって情報を伝え合う活動を行うことにより、互いの関係をいっそう豊かにさせたい。社会の一員として誰とでも仲良く生活できるようになることを期待し、相手を思い準備する過程を大切に扱いたいと考えている。互いのことを理解し合ったり心を通わせたりしてかかわることの楽しさが実感として分かり、身の回りの多様な人々と進んで交流できるようにすることを目指したい。

そうした中で得られるであろう達成感や成就感、「自分にもできるんだ」「もっとやりたいな」という自信や意欲は、これからの生活を豊かに広げていくことにつながっていくと考える。と同時に、支えてくれた人々の存在に気づき、感謝の気持ちをもつことができるようにすることもねらいとしていきたい。

今回の幼稚園児と触れ合う活動は、大袋幼稚園の先生方との協力、協働によって成り立つものである。今年度も、11月には大袋幼稚園へ、1月には本校での事前打ち合わせを行った。2月9日には幼稚園児192名との交流会、3月には保幼小連絡会を計画している。

本単元の学習は、今後、第2学年4月の「2年生になったよ」へ繋げ、新1年生との交流学習も継続し、「学校たんけん」や「あそびランドへようこそ」へと発展させていくこととする。

(3) 研究の視点

研究の仮説「気付きの質を高めるためには、具体的な活動や体験と表現活動（言語活動）を充実させる必要がある。」

手立て① 体験活動を繰り返し、振り返る

児童が自身の思いや願いを主体的に見出し、夢中になって活動できるよう、単元の構成や学習環

境の構成などを工夫する。活動をより楽しくしたいという児童の思いや願いを実現するために、活動を振り返り表現する場を設け、児童の表現の中にある学びを見取る。

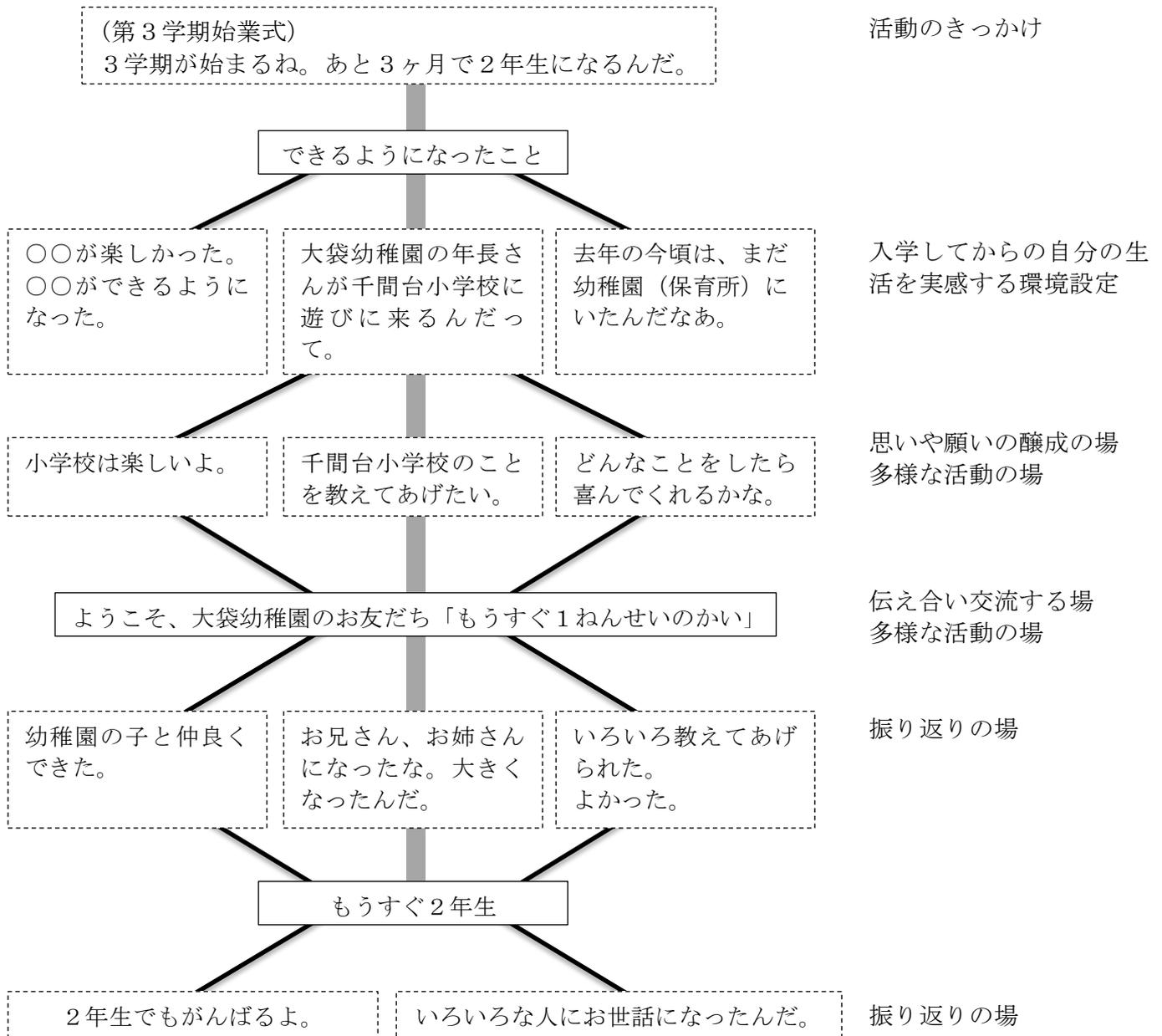
手立て② 活動（表現）しながら、比べたり試したり工夫したりする

活動（表現）する楽しさを味わっている様子やワークシート、作品などから活動を振り返り、児童や教師がとらえた「比べる」「試す」「工夫する」などの表現活動を取り上げ、気づきの質を高める。

手立て③ 多様な表現をし、交流する

一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びをさせ、それらを互いに関連させるような学習活動を展開したり、友だちと伝え合い交流する場の工夫をしたりすることで気づきの質を高める。以上の手立てからとらえた気づきを児童と共に掲示物等に残していくことで、気付いたことを基に考え、気づきの質を高めていくことができるようにする。

(4)単元の構想と児童の意識の流れ



3 単元目標

自分の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

4 評価規準 内容項目 〈(9) 自分の成長 (8) 生活や出来事の交流〉

	ア 生活への 関心・意欲・態度	イ 活動や体験に についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分に についての気付き
単 元 の 評 価 規 準	入学後の自分の成長に関心をもち、成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。	入学してからの1年間の自分の成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への思いや、これからの成長について考え、それを素直に表現している。	入学後の1年間で、大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことや、これまでの生活や成長を支えてくれた多くの人々がいることが分かり、自分のよさや可能性に気付いている。
学 習 活 動 に 即 した 評 価 規 準 (小 単 元)	1 ①自分自身の成長に関心をもち、自分の成長を振り返ろうとしている。	①自分の生活や成長について振り返り、自分なりの方法で表している。	①自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。
	2 ②幼稚園児に親しみをもち、進んでかかわろうとしている。	②幼稚園児に自分の思いが伝えられるように、自分なりに考え工夫している。	②身近な幼稚園児とかかわることの楽しさが分かり、一緒に活動することのよさや、自分の成長に気付いている。
	3 ③自分自身の成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。	③自分の成長を支えてくれた人々とかかわりについて考え、感謝の気持ちを表している。 ④自分の成長に希望をもち、これからの生活について考えている。	③自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付いている。 ④自分のよさや可能性が分かり、これからも成長できることに気付いている。

5 指導と評価の計画

単元名 「もうすぐ2年生」 (17時間扱い)

時 間	「小単元名」 ◎ねらい ○主な学習活動 ※言語活動 ◇ICTの活用	小単元における 学習活動に即した 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な児童の姿 規準に満たなかった児童への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 観察 <input checked="" type="checkbox"/> 行動 <input checked="" type="checkbox"/> 発言 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> つぶやき <input type="checkbox"/> ワークシート
2	<p>「できるようになったよ」</p> <p>◎入学してからの1年間を振り返り、調べたり伝えたりすることで、自分の成長を実感できるようにする。</p> <p>○入学からの1年間を生活科暦などを見ながら話し合う。(1時間)</p> <p>◇写真や品物、生活科カードなどを提示する。</p>	<p>アの①</p> <p>①自分自身の成長に関心をもち、自分の成長を振り返ろうとしている。</p> <p>イの①</p> <p>①自分の生活や成長について振り返り、自分なりの方法で表している。</p>	<p>具体的な児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科暦を何度も見ている。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 写真や生活科カード、品物などをもとに、1年間の出来事を振り返っている。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1年間の思い出を友だちと話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 自分の成長を喜んで友だちに伝えようとしている。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 思い出の写真などを見せながら、楽しかったことやできるようになったことを想起させる。

	<p>○思い出や自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどをカードに書く。(1時間)</p> <p>※自分の成長を書く。</p> <p>※カードを使って、小グループで発表しよう。</p> <p>※国語「いいこといっぱい1年生」</p>	<p>ウの①</p> <p>①自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。</p>	<p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が大きくなったこと、できるようになったこと、役割が増えたことなど、成長したことがたくさんあることに気付いている。 観 行 発 ワ ・友だちと比べて、同じようにできるようになったことがあるが、まだできないこともあることに気付いている。 観 行 発 ワ ・自分だけではなく、一人一人が成長し、2年生に近付いていることに気付いている。 観 行 発 ワ </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことを賞賛し、教師が共に見つけ励ます。 </div>
<p>7</p> <p>「ようこそ、大袋幼稚園のお友だち」</p> <p>◎自分の成長したことを工夫して表現することにより、自分の成長を実感したり、喜んだりすることで、周囲の人たちに感謝の気持ちをもつことができるようにする。</p> <p>○「もうすぐ1ねんせいのかい」の計画を立てる。(1時間)</p> <p>※誰に発表するか、発表する内容、会の役割分担、どのような会にするかを話し合う。</p> <p>※国語：発表原稿を書く。</p> <p>○幼稚園児に伝えたいことについて準備をしたり練習したりする。(個人・2時間)</p> <p>本時4 / 7</p> <p>○グループごとに伝えたいことについて練習する。(グループ・1時間)</p> <p>※国語：相手を意識しながら練習する。</p>	<p>アの②</p> <p>幼稚園児に親しみをもち、進んでかかわろうとしている。</p> <p>イの②</p> <p>幼稚園児に自分の思いが伝えられるように、自分なりに考え工夫している。</p>	<p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児に分かるような言葉を使って、準備をしている。 観 行 つ 作 ・ゆっくり大きな声や動作で、発表の練習をしている。 観 行 つ 作 ・友だちに発表の仕方で改善することを聞きながら、練習している。 行 発 つ ・友だちの発表のよいところを伝えようとしている。 行 発 つ ・自分の成長を支えてくれた人への感謝の気持ちを表現しようとしている。 行 発 </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを聞き取りながら助言する。 ・発表の仕方の例を示しながら、一緒に考える。 </div>	

<p>道徳：「めだかのめぐ」(愛校心)の想起 「るいくんのゴール」(思いやり、親切) 図工:プログラムや看板を作る。</p> <p>○リハーサルをする。(1時間)</p> <p>○大袋幼稚園児との交流会「もうすぐ1ねんせいのかい」を行う。(2時間)</p>	<p>ウの② 身近な幼稚園児とかかわることの楽しさが分かり、一緒に活動することのよさや、自分の成長に気付いている。</p>	<p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児とのかかわりを通して、自分自身の成長を実感している。 観 行 発 つ ・交流会の計画を立てたり練習したりする中で、1年間を振り返り、これまでの成長を支えてくれた人々の存在に気付いている。 観 行 発 つ </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・活動したことを一緒に振り返ったり、活動のよさを認めたりしながら気付かせる。 </div>
<p>8 「もうすぐ2年生」</p> <p>◎自分のよさや得意なことに自身をもち、具体的な願いや夢を表現し、希望をもって生活することができるようにする。</p> <p>○これまでの活動を通して、自信をもったことや自分が2年生として頑張りたいことを発表する。(1時間)</p> <p>◇写真を提示する。</p> <p>○保護者からのメッセージを読み、2年生に向けて、これから頑張りたいことややってみたいこと、感謝の気持ちなどをカードに書き、グループで発表する。(1時間)</p> <p>※活動を振り返り、自分の言葉でワークシートにまとめたり伝え合ったりする。</p> <p>○これから自分でやってみたいこと、学校のためにできることを話し合う。(1時間)</p> <p>○話し合ったことをもとに、準備や実践をする。(1時間)</p> <p>図工:「みんなおいでよ、わたしのクラスへ」</p>	<p>アの③ 自分自身の成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。</p> <p>イの③ 自分の成長を支えてくれた人々とかかわりについて考え、感謝の気持ちを表している。</p> <p>ウの③ 自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付いている。</p> <p>イの④ 自分の成長に希望をもち、これからの生活について考えている。</p>	<p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生に向けて、願いや夢をもって生活しようとしている。 観 行 発 つ ・2年生に積極的にインタビューしている。 観 行 発 ・自分のよさを生かし、新1年生が喜ぶような教室の飾り付けを考えようとしている 発 つ ・感謝の気持ちをカードや手紙に書こうとしている。 観 つ </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことをもとに、2年生に向けてがんばりたいことを一緒に考える。 </div> <p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の手紙を気持ちを込めて書くことができる。 観 つ ・今までのことを思い出し、お世話になった人について考えている。 観 発 つ つ </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の言葉でどのような言葉で伝えることができるか一緒に考える。 </div> <p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生になってがんばりたいことを表現している。 つ 発 つ ・これからやってみたいことについて考えている。 つ 発 つ ・新1年生にしてあげたいことを考えている。 観 つ 発 </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生の話聞いて、やってみたいことがないか一緒に考える。 </div>

<p>○2年生になったら、どのようなことをするのか2年生にインタビューをする。 (1時間) ※インタビューをする。</p> <p>○2年生にインタビューしたことをグループで話し合う。 (1時間)</p> <p>○2年生や保護者などお世話になった人に感謝の手紙を書く。 (1時間)</p> <p>道徳:「ありがとう6年生」(感謝)</p> <p>○これまでの活動を振り返り、2年生に向けての目標をもつ。 (1時間)</p>	<p>ウの④ 自分のよさや可能性が分かり、これからも成長できることに気付いている。</p>	<p>具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生に向けて、めあてをもっている自分に気付いている。 観 つ 発 ・自分の成長を喜んでいる。 観 つ 発 ・新1年生にしてあげたいことを考えている。 観 つ 発 </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことを賞賛し、児童のよさを認め励ます。 </div>
--	---	--

6 本時の学習指導 (6/17)

(1)目標

幼稚園児に伝えたいことについて準備をしたり練習したりすることができる。

(2)展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点 *評価(評価方法) ※言語活動 ◇ICTの活用	時間・資料
1 前時の確認をする。	○「もうすぐ1ねんせいのかい」の計画を確認したり、前時の活動のよさを賞賛したりして学習意欲を高める。 ◇活動の様子を提示する。	5分 ・掲示資料 ・ICT
2 本時の課題を知る。	○グループの友だちと聞き合いながら、幼稚園児に伝えたいことがうまく表現できるよう課題をもたせる。	3分
<p>大袋幼稚園のお友だちに〇〇を伝えて、小学校を好きになってもらおう。</p>		
3 グループごとに練習する。	<p>○分かりやすく伝えるだけではなく、相手の気持ちも考えるよう助言する。</p> <p>○グループ内で、「発表する人」、「幼稚園児役の人」、「聞く人」の役割を決め練習するよう指導し、支え合い、補い合ってよい会になるよう助言する。</p> <p>○発表する人のよさに着目させながら、発表・聞く→話し合う→工夫する→発表・聞く・・・を繰り返させることで、表現や気付きの質が高まるようにする。</p> <p>※児童の思いや考え、話し方や伝え方など気付いたことを表現するとよいことを伝え、児童の活動から見取り賞賛するようにする。</p>	3 2分

<p>4 振り返りをする。</p>	<p>○前時に記入した振り返りカードや発表原稿をもとに、児童の思いや願いを把握しておく。</p> <p>*評価 具体的な児童の姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児に分かるような言葉を使って、準備をしている。 観 行 つ 作 ・ゆっくり大きな声や動作で、発表の練習をしている。 観 行 ・友だちに発表の仕方で改善することを聞きながら、練習している。 行 発 つ ・友だちの発表のよいところを伝えようとしている。 行 発 つ </div> <p>規準に満たなかった児童への支援</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを聞き取りながら助言する。 ・発表の仕方の例を示しながら、一緒に考える。 </div> <p>○自分の活動を振り返り、思ったことや考えたこと、気付いたことを発表させることで、気付きを共有し質が高まるようにする。</p> <p>○次時の課題が明確になるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席表 (支援表) ・ 振り返りカード ・ 発表原稿 <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示資料 <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示資料
-------------------	---	--